※令和４年度以降入学生用

学校番号	3021

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	国語表現　（大修館書店）						
副教材等	国語表現　基礎練習ノート（大修館書店） 小論文頻出テーマ　チェック＆ワーク　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「ことば」を習得するには，語句の意味・漢字の読み書きなど基本的な学習を毎日地道に続けることが不可欠です。また議論や発表の際には，様々な情報の中から必要なものを取捨選択したり，データを読み取ったりする訓練を重ねることが必要です。課題の作文や小論文を自分で推敲したり，添削してもらった後にもう一度書き直したりすることも大切な取り組みです。手間を惜しまずに取り組んでください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1)　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，実社会における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，実社会における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・表記の決まりを意識し，正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。 ・原稿用紙の使い方について正しい知識を身に付ける。 ・表現を豊かにすることができる修辞法を学ぶ。 ［教材］ 言葉と出会う 「言葉と表記」「整った文を書く」	a：適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ，語彙を豊かにしている。原稿用紙の正しい使い方を理解している。 b：[書]係り受けや文末表現の統一，接続表現などを意識して整った文章を書くことができている。 c：文章を推敲し，豊かな表現をしようと努めている。	定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検・分析・授業態度	発問評価，行動の観察及び記述の点検・分析
	・適切な題材や材料を収集し整理する。 ・文章の主題を明確にする。 ・構成を考えて，文章が書けるようになる。 ［教材］ 小論文・レポート入門 「小論文とは何か」「反論を想定して書く」	a：図や写真を見て，情報を整理できている。 反論を想定して小論文を書くことの意味を理解している。 b：[書]ことばを適切に用いて，段落構成の整った文章を書くことができている。反論を想定して書く構成を理解し，それに沿って小論文を書くことができている。 c：書くことに関する文章を読み，自らの表現に生かそうと努めている。	定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検・分析・授業態度	発問評価，行動の観察及び記述の点検・分析
	・話すこと・聞くことの重要性を理解する。 ・スピーチやプレゼンテーションの方法，人前で話す，聞くうえでの注意事項を学ぶ。 ・面接を受ける態度や表現を学ぶ。 ・面接に対応した態度や表現を身に付ける。 ［教材］ 会話・議論・発表	a：スピーチの方法と人前で話す場面，人の話を聞く場面で注意することを理解している。 b：[話・聞] わかりやすいスピーチ，プレゼンテーションができている。話し手が話しやすい聞き方をしている。 c：コミュニケーションについて 書かれた文章を読み，自らの表現に積極的に生かそうと努めている。	定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検・分析・授業態度	発問評価，行動の観察及び記述の点検・分析
2学期	・1学期で学習した「文章の書き方」に沿って，進路に即した作文を実際に書く。 ・面接官と受験生の立場で模擬面接をグループで行い，相互批評する。 ［教材］ 自己ＰＲと面接 「効果的な自己ＰＲ」「志望理由書を書こう」	a：場面にふさわしい言葉遣いと具体的事例の表現効果を理解している。 b：[書・話・聞]自己ＰＲ文を作成し，質問に対して，具体的で説得力のある答え方ができている。人の話をよく聞き，的確な批評ができる。志望先についての情報を適切な方法で集めている。調べたこと，やりたいこと，自己 PR の三つを結びつけて，説得力のある志望理由を書くことができている。 c：働くことや将来の夢についての文章を読んだり，他者の発言を聞いたりすることで 自らの進路について考えている。	定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検・分析・授業態度	発問評価，行動の観察及び記述の点検・分析

※令和４年度以降入学生用

	・用途に応じた手紙の書き方を知る。 ・インターネットの普及による多彩なツールを使いこなし，コミュニケーションを豊かにする。 ・インターネットを活用した情報収集の仕方を身に付ける。 ［教材］ メディアを駆使する 通信文をかき分ける」「ネットを活用した情報収集」	a:手紙の形式や頭語と結語，時候の挨拶など通信文の書き方理解している。さまざまなメディアの種類や特徴，メディアリテラシーをもとにした情報との向き合い方について理解を深めている。 b:[書] 相手や目的に合った通信文を書くことができている。自分の考えを明確にし，根拠となる情報をもとに的確に説明するなど，表現のしかたを工夫している。 c：インターネット利用における注意点や危険性を意識しながら，必要な情報収集ができている。	定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検・分析・授業態度	発問評価，行動の観察及び記述の点検・分析
３学期	・さまざまな言葉遊びを通して，言葉に興味をもち，語彙を広げて，言語感覚を豊かにする。 ･流行語や若者言葉の中から，国語辞典に載せたい言葉を選び，自分なりの意味と解説を書く。それをみんなで持ち寄って，オリジナルの国語辞典を作る。 ［教材］ 表現を楽しむ 「言葉で遊ぶ」「みんなで作ろう国語辞典」	a：自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，言葉遊びの中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。国語辞典における，見出し語，意味，解説，例文という形式を理解し，正しい文法表現で語句の意味を説明している。 b:〔書〕目的や意図に応じて適切な題材を決め，語句や表現の組み合わせなどを工夫して，伝えたいことを明確にしている。現代社会の姿を反映した言葉を選択し，ユニークな発想と豊かな表現で語句の説明ができている。 c:さまざまな言葉遊びに興味をもち，意欲的に活動に取り組もうとしている。周囲と協力しながら，できるだけ多くの言葉選び，詳しい言語の説明など意欲的に辞書作りに取り組んでいる。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検・分析・授業態度	行動の観察及び記述の点検・分析・授業態度

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※年間の各領域時間数
・話すこと／聞くこと　…　（　３５　）時間
・書くこと　…　（　７０　）時間
・読むこと　…　（　０　）時間